

株主様からのご質問について

株主の皆様より事前にいただいたご質問の中から、ご関心の高い事項について回答させていただきます。
(2023年7月7日)

Q. この春のダイヤ改正で、ラッシュ時間帯も含め多く減便している中、運賃改定を申請するのは矛盾していないか。

A. 本年3月に実施したダイヤ改正では、新たな生活様式の定着により、コロナ禍前のご利用水準には至っていないことを受けて、終日に亘り、運転本数や組成両数を見直し、輸送力の適正化を図りました。一方で、運賃改定の申請につきましては、輸送力の適正化や費用削減、増収への取り組み等、収支改善には引続き取り組むものの、安全・安心・安定輸送の確保に必要な設備更新や、バリアフリー等の施設の改善のため、不足する費用の一部についてご負担をお願いしたいと考えております。

Q. 名駅再開発における名鉄名古屋駅の構造・仕様等の発表はいつか。

A. 名駅再開発計画につきましては、2024年度中に事業化の判断をする予定であり、現在、方向性の判断に向けて、地権者と検討の深度化を進めております。
なお、名鉄名古屋駅の構造・仕様につきましては、線路を4線化することによって、すべての方面に向かわれるお客さまにとってわかりやすく、利便性向上に寄与できる駅空間を形成できるよう、あらゆる可能性を検討しております。

Q. 女性役員が少ないのではないか。

A. 役員や中核人材への女性の登用につきましては、以前より重要な経営課題として捉えており、現在、女性採用数や管理職への登用数などの具体的な数値目標を設定して、女性活躍推進に取り組んでおります。
一方で、役員を選任につきましては、役員個人としての知識、経験、能力のほか、多様性等を総合的に勘案して決定することが重要であると考えており、性別に関わらず、現時点で適任と思われる人材を選任しております。
今後も積極的に女性活躍推進を進め、外部人材を含めた適任の人材を、役員や中核人材に登用してまいります。

Q. インバウンドを含む富裕層への営業施策は。

A. 観光庁が進める事業において高付加価値なモデル観光地の一つに選定された松本・高山エリアや、「ホテルインディゴ犬山有楽苑」を保有する犬山エリア等において、地域一体となって高品質・高単価な商品・サービスを開発しコンテンツを磨き上げていくことにより、他エリアとの差別化を図り、国内外の富裕層の需要を取り込んでまいります。